

第74期 第2四半期株主通信

2019年4月1日から2019年9月30日まで

ロジスティクスに最適解を
大石産業株式会社

証券コード：3943

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2019年9月30日をもって、第74期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)事業年度の第2四半期を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

事業の経過およびその成果

当期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国の通商政策の動向、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、原油価格の上昇や金融資本市場の変動等により先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「TPS(トータル・パッケージング・ソリューション)提案」により顧客満足を徹底的に追求するとともに、全社をあげてイノベーション活動に取り組み、業績向上に努めてまいりました。

また、M&Aにも積極的に取り組み、関東地区でのサプライチェーンの拡充を通して紙袋事業の拡大を図るべく、柳沢製袋株式会社をグループに迎え入れました。

その結果、売上高は、フィルム製品および海外部門が減収となりましたが、パルプ



代表取締役社長
大久保 則夫

モウルド製品、国内の重包装袋製品の増収により、93億29百万円(前年同期比0.4%増)となりました。利益につきましては、M&Aに関連する一時費用の計上もありましたが、増収効果もあり営業利益は4億38百万円(前年同期比8.8%増)、経常利益は5億16百万円(前年同期比4.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億39百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

なお、配当金額につきましては、中間配当金額は1株につき27円、2020年3月期の期末配当につきましても同27円を予想しております。

今期の見通し

通期の業績予想につきましては下記のとおりです。なお、5月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

売上高	20,000 百万円	(前期比 6.5%増)
営業利益	1,050 百万円	(前期比 38.2%増)
経常利益	1,300 百万円	(前期比 37.6%増)
当期純利益	900 百万円	(前期比 55.9%増)

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

CONTENTS

TOP MESSAGE	1
連結業績ハイライト	3
主要連結財務データ	4
セグメント情報	5
TOPICS	7
株式の概況	9
会社の概況	10

売上高	9,329 百万円	(前年同期比 0.4%増)
営業利益	438 百万円	(前年同期比 8.8%増)
経常利益	516 百万円	(前年同期比 4.5%増)
四半期純利益	339 百万円	(前年同期比 7.6%増)

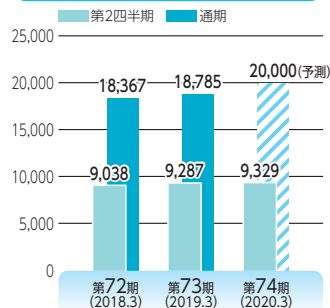
第2四半期決算のポイント

売上高につきましては、フィルム製品および海外部門が減収となりましたが、パルプモールド製品、国内の重包装袋製品の増収により売上高合計では増収となりました。

利益につきましては、M&Aに関連する一時費用の計上もありましたが、増収効果もあり増益となりました。

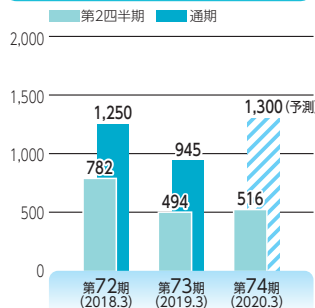
売上高

(百万円)



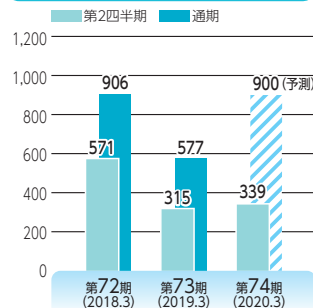
経常利益

(百万円)



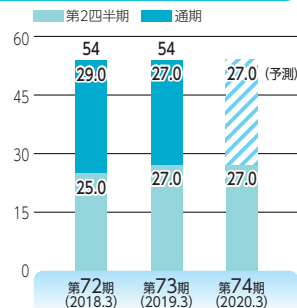
四半期純利益

(百万円)



1株当たり配当金

(円)



(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。第72期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり配当金を算定しております。

科 目	第72期第2四半期 (2017.9)	第72期通期 (2018.3)	第73期第2四半期 (2018.9)	第73期通期 (2019.3)	第74期第2四半期 (2019.9)
売上高 (百万円)	9,038	18,367	9,287	18,785	9,329
営業利益 (百万円)	685	1,079	403	759	438
経常利益 (百万円)	782	1,250	494	945	516
四半期 (当期) 純利益 (百万円)	571	906	315	577	339
総資産 (百万円)	20,858	21,033	21,404	21,006	21,651
純資産 (百万円)	13,114	13,478	13,705	13,407	13,491
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	142.51	226.03	78.64	145.84	87.79

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。第72期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

緩衝機能材事業

売上高 **42億73**百万円

営業の概況

パルプモールド部門は、工業分野で減収となったものの、畜産分野では鶏卵トレーが堅調に推移し、農業分野でも青果物で増収となり、パルプモールド部門の売上高は24億79百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

段ボール部門は、農業分野は好調で数量増となり増収となったものの、工業分野では化成品向けや加工食品向けなどで受注が減少した結果減収となり、段ボール部門の売上高は14億16百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

成型部門は、樹脂成型品は生産が軌道に乗ってきたことで増収となり、売上高は従来の宙吊式包装容器(ゆりかご)とあわせて3億77百万円(前年同期比134.0%増)となりました。

その結果、当事業の売上高は42億73百万円(前年同期比6.4%増)、セグメント利益は4億64百万円(前年同期比53.1%増)となりました。

●製品紹介

[パルプモールド]

りんごトレー

りんごの表面に結露した水分を吸収し、ムレを防止します。紙製品である特性を活かし、通気性と吸湿性に優れ鮮度保持に高い効果を発揮します。



[段ボール]

イージーオープナー

工業分野、農業分野など各用途にあわせて、お客様の作業効率・安全性アップとコストダウンを実現するため、最適包装のご提案を行ってまいります。



[成 型]

食品トレー

食事スタイルの多様化により中食(なかしょく)の需要が増えています。当社は、スーパーやコンビニで利用されている食品トレー用のフィルム製造から本体成型まで一貫して行っております。今後も技術力の向上に努めてまいります。



包装機能材事業

売上高 **47億84** 百万円

営業の概況

フィルム部門は、食品容器用フィルムがコンビニ向け需要減の影響で減収となったことが大きく、フィルム部門の売上高は17億75百万円(前年同期比14.4%減)となりました。

重包装袋部門は、国内は既存分野で化学薬品等が堅調に推移したことや、M&Aで買収した柳沢製袋株式会社の売上貢献により増収となりましたが、海外は米中貿易摩擦に起因する中国経済の減速や現地マーケットの競争激化等で減収となり、重包装袋部門の売上高は30億8百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

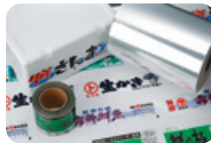
その結果、当事業の売上高は47億84百万円(前年同期比4.8%減)となり、セグメント利益は4億38百万円(前年同期比10.6%減)となりました。

●製品紹介

[フィルム]

ラベル・テープ用フィルム

ポリスチレン素材の発泡スチロール製魚箱向けのラベルやテープの基材として使用することで、同素材リサイクルに繋がります。また、家電向けラベルでも活用されています。



[重包装袋]

両底機械貼袋（製粉袋）

密封性が高く、製粉の包装に適しています。また、各種フィルムと組み合わせることで、防湿効果を高めます。開封性にも優れており、お客様が簡単に内容物を取り出すことができます。



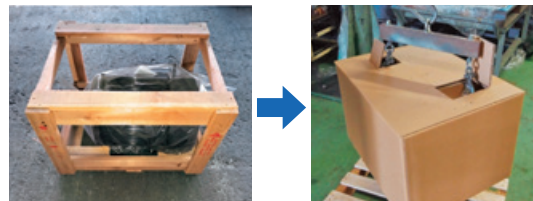
1 2019日本パッケージングコンテスト 5年連続入賞

公益社団法人日本包装技術協会主催の2019日本パッケージングコンテストにおきまして、当社開発品の「底糊無しワンタッチケース(輸送包装部門賞)」と「木枠梱包モーターの段ボール包装化(工業包装部門賞)」の2点が入賞いたしました。コストダウンと梱包作業時間の短縮が高く評価されました。当社開発品は、2015年のゆりかーご以来5年連続での同コンテスト入賞となりました。

今後も常に新しく価値ある商品・サービスをお客様へお届けするために、イノベーション活動を継続してまいります。



底部に糊貼りをしない形状のワンタッチケース



従来の木枠梱包に比べ、コストダウンと作業時間短縮を実現

2 柳沢製袋株式会社を子会社化

2019年5月、柳沢製袋株式会社の株式を取得し、子会社化いたしました。同社は、関東地区を基盤とする紙袋の製造販売会社で、食品安全マネジメントシステムFSSC22000および品質マネジメントシステムISO22000の認証を取得しております。またAIBフードセーフティ指導・監査システムを導入するなど、製粉・食品分野における高い技術力を保有しています。

同社を大石産業グループの一員として迎えることで、食品分野における安全・安心な紙製包装袋の供給能力の向上および関東地区におけるサプライチェーンの更なる拡充を図ることができます。今後もグループとしてのシナジー効果を追求し、紙袋事業の拡大を図ってまいります。



柳沢製袋株式会社

●株式の状況 (2019年9月30日現在)

(1) 発行済株式の総数 4,664,000株 (自己株式含む)

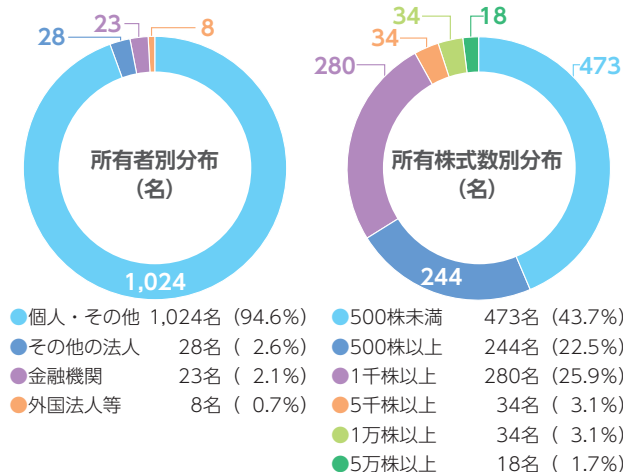
(2) 株主数 1,083名

(3) 大株主

株主名	持株数	持株比率
王子ホールディングス株式会社	381千株	9.65%
OSK社員持株会	282千株	7.13%
三井住友海上火災保険株式会社	197千株	4.99%
株式会社西日本シティ銀行	189千株	4.79%
株式会社福岡銀行	186千株	4.72%
株式会社北九州銀行	175千株	4.45%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	107千株	2.72%
中村泰子	104千株	2.65%
株式会社ニシキ	100千株	2.53%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	98千株	2.48%

(注) 持株比率は自己株式 (711千株) を控除して計算しております。

(4) 株式分布状況



●会社の概要 (2019年9月30日現在)

商 号	大石産業株式会社 OHISHI SANGYO CO.,LTD.
本社所在地	北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
設 立	1947年2月3日
資 本 金	4億6,640万円
支 店	東日本／東京／関西／北九州／九州／シンガポール
工 場	八戸、茨城、鞍手、小倉、直方
従 業 員 数	333名(グループ555名)

連結子会社

株式会社アクシス	ENCORE LAMI SDN. BHD.
CORE PAX(M) SDN. BHD.	柳沢製袋株式会社※

※2019年5月31日付で柳沢製袋株式会社を子会社化いたしました。

取締役

代表取締役社長	大久保 則夫
専務取締役	久 継 雅 夫
常務取締役	田 中 英 雄
取 締 役	高 田 圭 二
取 締 役	山 口 博 章
社外取締役(常勤監査等委員)	宮 地 郁 夫
社外取締役(監査等委員)	長 門 博 之
社外取締役(監査等委員)	川 本 惣 一
社外取締役(監査等委員)	福 地 昌 能

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
公告掲載方法	電子公告制度により行います。 公告掲載URL http://www.osk.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)
上場証券取引所	福岡
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先 お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎0120-707-843

各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等、証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求は、インターネットでもお受け付けいたしております。

ホームページアドレス

<https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンタで印刷できます。)

大石産業株式会社

〒805-0068 北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
TEL.093-661-6511 FAX.093-661-1641
<http://www.osk.co.jp/>